



博士論文

ヨハン・バプティスト・シェンクの  
ジングシュピール

——資料および音楽様式の研究——

武石みどり

## 凡例

1. 人名は日本語で表記し、初出の際に原綴と生没年を括弧に入れて示す。
2. ジングシュピールの作品の名称は日本語訳で示し、初出の際に原綴を括弧に入れて示す。原則として、作品にコード・ナンバー（#1, #2, ...）と作曲年を常に付記する。  
例：#1「宝掘り」（1780年）  
これは、当該作品が何番めに作曲された作品であるか（コード・ナンバー）、及びいつ作曲されたかを常に明らかにするためである。
3. ジングシュピールに含まれる各曲の番号は、No.1, No.2, ... で表す。
4. 表、譜例、タイムラインは、各部ごとに番号づけし、部の番号と一連番号をハイフンで結んだ。例えば、本論第2部の表は、表2—1, 2—2, ... と番号づけされている。
5. 注は、各節、または各項（節の下の単位：例えば、第1節の1, 2, ...）ごとに(1), (2), ... と番号づけし、各項の末尾にまとめて示した。
6. 記述量の多い章、あるいは節には、その末尾に要約を付した。
7. 図書館等の略語は、『新グローヴ音楽事典』（Sadie, Stanley, ed. *The new Grove dictionary of music and musicians*. 20 vols. London: Macmillan, 1980）の“Library Sigla”と同一である。但し、国名略語と図書館略語のあいだにハイフンを付し、国名と図書館名、およびそのあとに続く所蔵番号との区別を明確にした。また、オーストリア国立図書館の所蔵物は一箇所にまとまっておらず、各収集（Sammlung）によって別置されているので、図書館略語のあとにさらにハイフンをおき、収集名の略語を付した。また、オーストリア国立アルヒーフ（*österreichisches Staatsarchiv*）は『新グローヴ音楽事典』の“Library Sigla”に含まれていないので、本論文において同じ原則による略語（A-Wsta）を加えた。以上の略語は付録1にまとめて表示してある。
8. 出典文献は、各文の「, 」または「。」のあとに、（著者名 出版年：関連ページ）の書式で示すこととする。文献が複製によるリプリントである場合には、原書の出版年の末尾に“R”を、また複製によらない再出版である場合には出版年の末尾に“N”を付す。同年に同著者による文献が複数ある場合には、出版年の末尾に“A, B, ...”のアルファベットを付して区別した。出典文献は付録2にまとめて表示してある。
9. 五線紙の漉しは、本文中ではコード・ナンバー（例：Wz#1）で表示することとし、各漉しの記述は付録3にまとめて表示した。

## 目次

序論	本論文の目的とヨハン・バプティスト・シェンクのジングシュピール研究の意義	1
<b>本論第1部</b>		
<b>シェンクのジングシュピールの背景</b>		
第1章	18世紀におけるジングシュピールの概念と歴史	4
第1節	ウィーンのジングシュピール	5
第2節	北部と中部ドイツのジングシュピール	22
第3節	初期ロマン派のドイツ語オペラ	24
	(第1章の要約)	26
第2章	ヨハン・バプティスト・シェンクの生涯と作品	
第1節	シェンクの生涯	28
第2節	シェンクの作品	44
	(第2章の要約)	49
第3章	ヨハン・バプティスト・シェンクの研究史	
第1節	伝記記述	51
第2節	アイトナーの『音楽家・音楽学者に関する伝記的文献学的資料事典』	53
第3節	ローゼンフェルト＝レーマーの学位論文『オペラ作曲家としてのヨハン・バプティスト・シェンク』	54
第4節	ハースによる「村の床屋」の校訂楽譜	55
第5節	1930年代以降の演劇史研究	55
第6節	第二次大戦後の音楽事典の記述	55
	(第3章の要約)	57
<b>本論第2部</b>		
<b>シェンクのジングシュピールのドキュメント、及び資料研究</b>		
第1章	資料研究の方法論	59
第1節	学問的資料研究の三つの基礎	59
第2節	資料研究の手順	61
第2章	各作品の主題目録と資料記述	64
#1	「宝掘り」(1780年)	66
#2	「ぶどう摘み」(1785年)	72
#3	「田舎のクリスマス」(1786年)	79
#4	「暗中模索」(1787年)	98
#5	「思いがけない海の祝祭」(1789年)	113
#6	「題名のないジングシュピール」(1790年)	122
#7	「収穫祭の冠」(1791年)	135
#8	「アッハメットとアルマンツィーネ」(1795年)	147

# 9 「村の床屋」 (1796年)	165
#10 「皇后マリア・テレージアの命名祝日のためのパントマイムとジングシュピール」 (1798年)	192
#11 「狩」 (1799年)	200
#12 「桶屋」 (1802年)	215
(第2章の要約)	224
第3章 帰属作品に問題のある楽譜資料	
第1節 帰属作品の考察における外的補助手段	227
第2節 帰属作品の考察	237
(第3章の要約)	260
<b>本論第3部</b>	
<b>シェンクのジングシュピールの様式研究</b>	
第1章 様式分析の方法	
第1節 ラルー、大宮 1988 「総合的様式分析」の方法論の特徴とジングシュピール研究への適用	266
第2節 様式分析の目的設定と手順	270
第2章 様式考察	
第1節 ラージ・ディメンション	273
(ラージ・ディメンションの観察の結論)	325
第2節 ミドル・ディメンション	331
(第2節の要約)	353
第3節 編曲	355
第3章 帰属作品に問題がある曲の様式考察	359
<b>結論</b>	366
<b>付録</b>	
1. 図書館略語	384
2. 参考文献一覧	386
3. 自筆譜の渡し一覧	399
4. 台本付き校訂楽譜「アッハメットとアルマンツィーネ」	403